

J-WAVE 35周年 ×
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 25周年

2つの周年を記念し、映画祭に

J-WAVE SOUND OF CINEMAアワードを新設！

ショートフィルムにおける「サウンド」の可能性を評価

～アワードを決定するJ-WAVEリスナー審査員を4/10募集開始～

今年6月の開催でインターナショナル部門が25周年、アジア・ジャパン部門が20周年を迎える、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）は、今年開局35周年を迎えるラジオ局J-WAVEと、音楽・歌・声・音・楽器など「サウンド」がユニークで効果的な役割を果たしているショートフィルム作品に対して授与する「J-WAVE SOUND OF CINEMAアワード」の新設を発表いたします。

SSFF & ASIA の歴史上、音楽以外を含む「音」に着目するアワードは初となります。



世界120以上の国と地域から集まり、選び抜かれた250点以上のSSFF & ASIAノミネート作品の中から本アワードを決定するのは、J-WAVEリスナー審査員100名。※一部映画祭実行委員会も審査に参加
本日4/10(月)～募集を開始します（締め切は4/27:木）。

リスナー審査員応募フォーム：https://www.j-wave.co.jp/topics/2304_ssff.htm

抽選で選ばれたリスナー審査員には追って候補作品の視聴リンクと審査表が送付されます。

また、本アワード受賞作品が発表となる、6月のSSFF & ASIA 2023オープニングセレモニーへの招待が贈られます。

J-WAVE代表の中岡壮生氏は、「映画祭25周年おめでとうございます。音には脳を刺激し、私たちの想像力を広げたり感情を動かす力があります。今回、音という文脈で映画を見つめ、その部分を評価する賞をあらたにスタートする事になりました。

どんな音の表現が観客の心を動かすトリガーとなるのか？楽しみにしています。」とコメント。

SSFF & ASIA代表の別所哲也も「既存改年からの解放：UNLOCKをテーマに開催する映画祭で、今までになかった「音」の重要性を評価する新たなアワードができたことを大変うれしく思います。音がどれだけ作品の演出に自重要な役割を果たしているのか、新しい視点でショートフィルムを見ることができるのを、大変楽しみにしています！」と期待を述べています。



【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2023 概要】

- 映画祭代表：別所 哲也
- 開催期間：6月6（火）～6月26日（月）
オンライン会場は4月27日（木）～7月10日（月）
- 上映会場：TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT（渋谷）、
二子玉川ライズ スタジオ & ホール、ユーロライブ、
表参道ヒルズ スペースオー、赤坂インターシティコンファレンス
オンライン会場にて予定
※開催期間は各会場によって異なります
- 料金：会场上映：無料（予約開始は4月27日～）一部有料イベントあり
- 一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844
- オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2023>
2023ウェブサイトは4月27日にアップデート公開
- 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、時期または内容を変更する場合があります。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】



米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に

「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

※SSFF & ASIA 2023 のウェブサイトは2023年4月27日（木）にオープン予定

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：滝口（070-1639-9630）、佐藤（烈）、武田

TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：
press@shortshorts.org

画像は下記よりダウンロードいただけます。

<https://drive.google.com/drive/folders/15hSmK0-WmGBDjHCBt1xb07DviRXfJ3Us?usp=sharing>